

新宮山彦ぐるーぷ第2330回

行仙宿、補給路の拡幅工事

◇実施日 10月27日(日) 曇り

◇参加者 梶野照雄 1名

27日に予定されていた行事は雨予報のため中止されたが、前日の予報で夕方から雨となっていたので、簡単な作業はできそうだと行仙宿に向かった。

登山口に到着して、まず水場ホースの繋ぎ直しを行った。コック部分をいったん外し、テフロンテープを厚めに巻いてホースに差し込みホースバンドで固定した。水漏れもなく外れる心配もなくなった。



テープを巻く

ホースバンドで留める

流れ回復

プラスチックケース、混合ガンリン1リッターなどを積んで終点に向かう。

ケースをゴジマウスに置いて小屋に向かった。橋台工事現場で型枠を外しコンクリートの状態を確かめた。少し隙間はあるが全体では良好な状態だった。型枠を外し終えて小屋に向かう。



型枠を外す

気温は17℃

12時少し前に小屋に着き、窓を開けて換気。お湯を沸かして昼食を摂る。曇ってはいるが雨の降る気配はない。風も殆どなく気温は17℃。10月末とは思えないお天気だ。

チェーンソーを出してお堂下の補給路の切り株を処理する。お堂下の石垣と切り株の間が50cmほどしかなく、補給路拡幅の目標である80cmに届かないため切り株の切除が必要になった。

25cmほどの切り株は簡単に切除できたが、40cm越えの物は一度では切断できず半分ずつ切除した。半分を切り終え残りの半分を切っていると刃の当たる音が変わった。と同時にまったく切れなくなってしまった。倉庫にヤスリを取りに行つて目立てを行う。何か異物があるようなので、垂直方向に割ってみると石が見つかった。根に近いところなので石を抱

き込んで成長したようだ。石も1cmほど削れていた。再び目立てして切除を始めたが、切れ味が悪く時間がかかる上に燃料を2リッターも使ってしまったので作業を終了する。



一本目切除



二本目は半分ずつ



石があった



切除後



笠捨山に雲



下山

午後1時から作業を始めて終わったのが3時半、石があった為にかかる時間を要した。チェーンソーを倉庫に戻して戸締りを確認、空のガソリン缶2個を持って下山した。笠捨山も雲の中で今にも降り出しそうな空模様だったが、雨粒は落ちてこなかった。
(記；梶野)

行動タイム

10:30 補給路登山口 11:00 ↓ 11:17 コジマハウス ↓ 11:28 橋台
11:45 ↓ 11:48 行仙宿 15:40 ↓ コジマハウス 15:48 ↓ 16:04 補給路登山口